

平成30年度
冬号

Zoo Zoom おびひろ

☆クイズ☆

体重が軽い順にならびかえてみよう！

ミニチュアホース



モコ

ヒツジ



ピノ

ライオン



ヤマト

オオワシ



ヒロコ

答えは「ちびっこふぁーむ」に掲示しています

おびひろ動物園情報誌『Zoo Zoom おびひろ』平成30年度冬号

発行日：平成30年12月1日

編集・発行：おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市字緑ヶ丘2番地

TEL：0155-24-2437 E-mail：zoo@city.obihiro.hokkaido.jp

ホームページ：http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/zoo/

ブログ：http://www.mytokachi.jp/bp/obihirozoo/

ブログ携帯版
はコチラから



ニホンザル

ニホンザルはサルの仲間の中で、最も北に棲息しているため「北限のサル」と呼ばれています。冬の間は寒さを乗り越えるためにふさふさの長い毛で体がおおわれています。

動物園の役割 「調査・研究」

意外と知らない 動物園の活動

調査・研究

動物園の役割のひとつに「調査・研究」があります。生き物たちの生態をよく知り、動物園で快適に暮らせるように研究を行っています。動物園で飼育されている動物のなかには繁殖の方法や適切なエサのバランスなどがはっきり分かっていないものもあります。むやみに野生の動物をつかまえて展示するのではなく、どうしたら飼育している動物を増やしたり、健康で長生きさせたりできるのかを調べることで展示する動物を維持する努力をしています。

イイズナ

身近に生息していますがあまり知られていません。現在飼育しているのはおびひろ動物園だけ。

発表の様子

2018年9月には全国の動物園から飼育員が集まり日頃の研究の成果を発表する「第66回動物園技術者研究会」が帯広で行われました。このほか地域ごとの研究会や会議が年に何度か開かれており飼育技術に関する情報交換と飼育員同士の貴重な交流の機会となっています。

第66回動物園技術者研究会



連携

外部の機関と連携、協力して調査・研究を行うこともあります。おびひろ動物園では帯広畜産大学と協力して、飼育動物の糞中ホルモンによる妊娠判定や、毛を採取してDNA解析による性別の判定などを行っています。また、学生の卒業研究の材料としてサンプルの提供やアンケート収集の協力なども行っています。園内で調査やアンケートを見かけた際はぜひご協力をお願いします。

ビーバーの性別判定のため毛の採取をしているところ

